

総肺静脈還流異常

総肺静脈還流異常とは？

左心房に戻るべき肺静脈が共通肺静脈腔に集まり、左心房以外の静脈系に戻る状態です（肺静脈が集まらずに別個に戻る場合もあります）。この戻る経路のどこかに狭窄を認めることがあり、その場合には高度の肺うっ血と低酸素血症を認めます。

どのような症状が起きますか

低酸素血症によるチアノーゼ（顔色が青みがかった状態）をほぼ全例で認めます。肺静脈狭窄を認める場合には、肺うっ血が強く呼吸困難が著しくなります。

どのように診断しますか

心エコー検査は必須で、さらに病型を正確に診断するために心臓 CT や MRI 検査を行うことがあります。胸部レントゲン写真、心電図検査も必要です。術後の評価には心臓カテーテル検査を行います。

どのように治療しますか

共通肺静脈腔と左心房を吻合する手術を行います。肺静脈狭窄所見が明らかな場合は緊急手術の対象です。それ以外でも、診断後早期に手術を行います。手術後、新たに肺静脈狭窄を生じることがあり、しばしば難治性です。

